



FY15 1Q (16年3月期) 決算短信補足説明資料

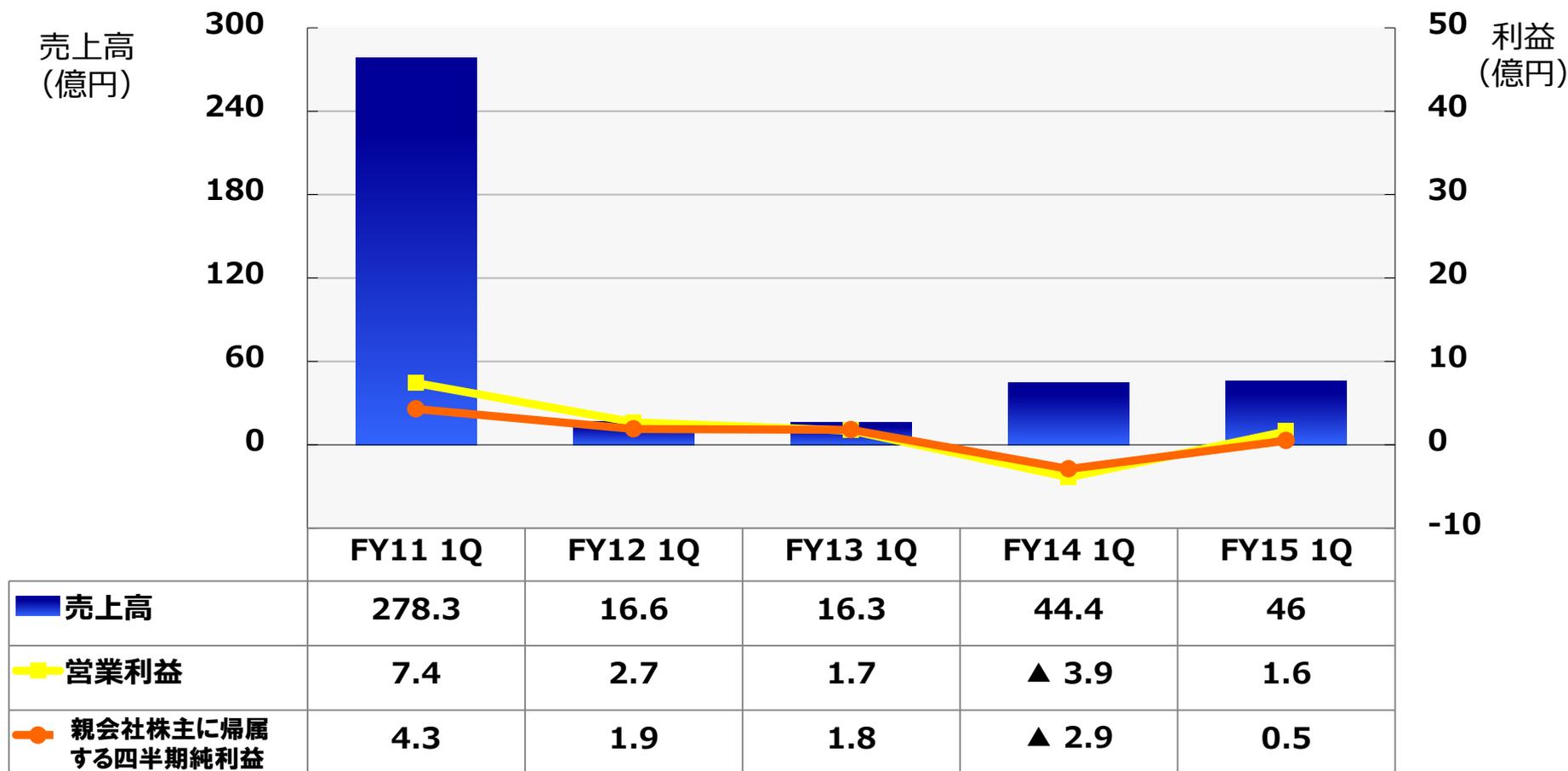
株式会社フェイス

FY15 1Q決算

FY15 1Q 連結業績ハイライト



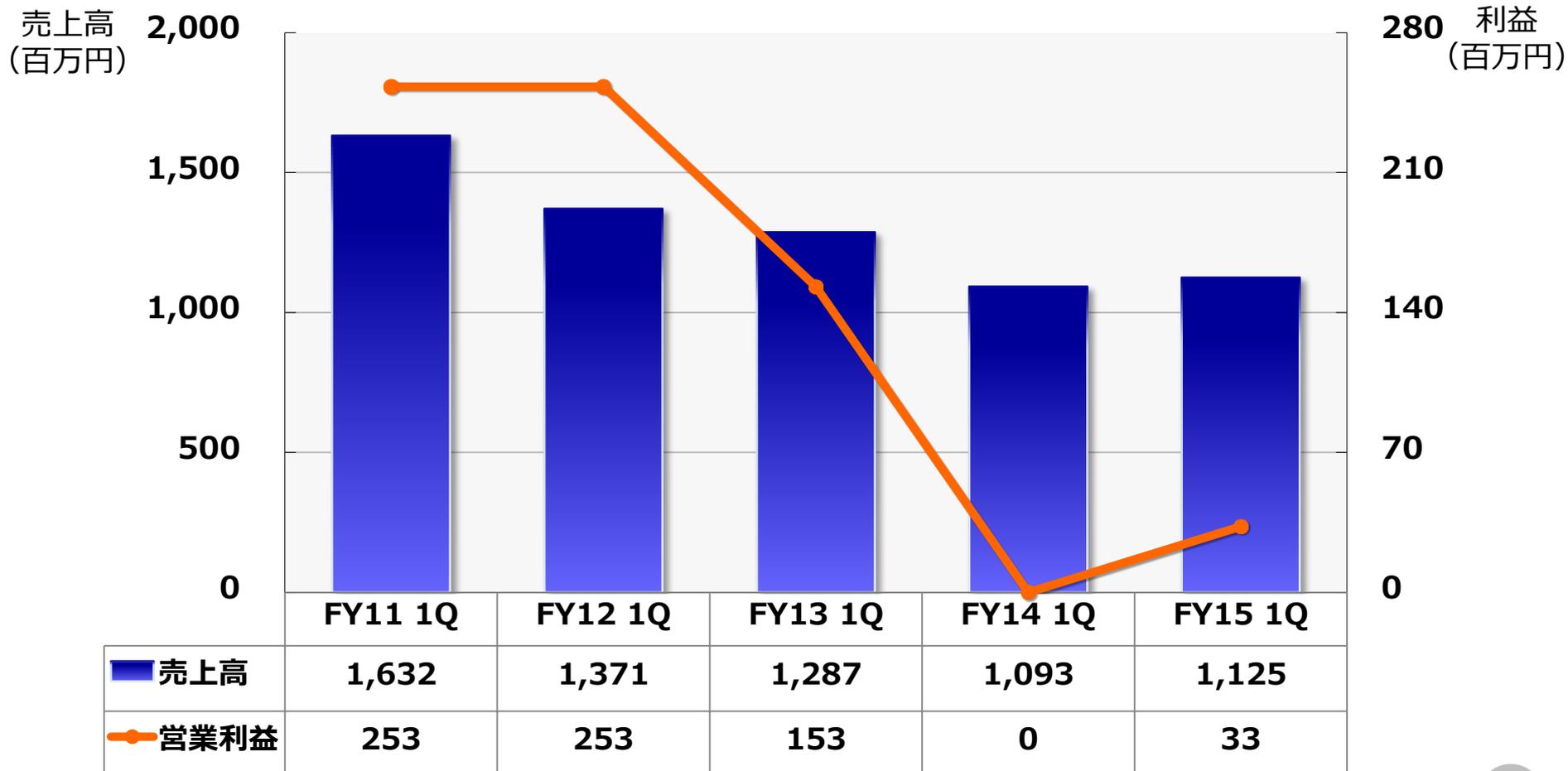
- スマートフォン向けサービスの堅調な伸びと日本コロムビア業績の黒字転化により、売上高は46億円、営業利益は1.6億円。親会社株主に帰属する四半期純利益は0.5億円。



※2011年7月に株式会社ウェブマネー株式を売却したことに伴い、FY11 2Q以降、電子マネー事業の売上・利益が除外されている。

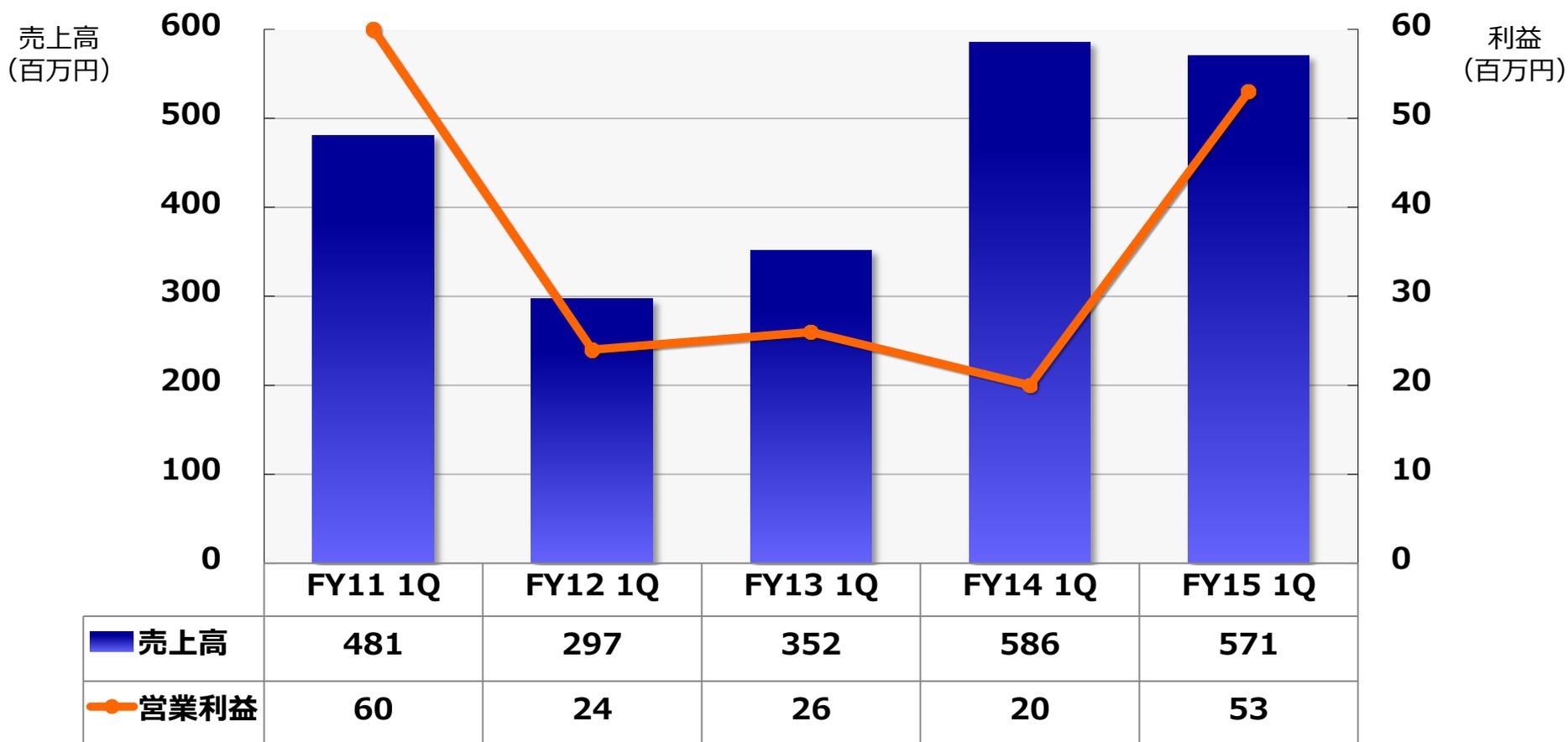
FY15 1Q コンテンツ事業の業績

- 新たなサービス展開の積極的な取り組みにより売上高は前年同期比3.0%増の1,125百万円。
- 営業利益は、外注費や広告宣伝等のコスト削減を進め、前年同期比32百万円増の33百万円。



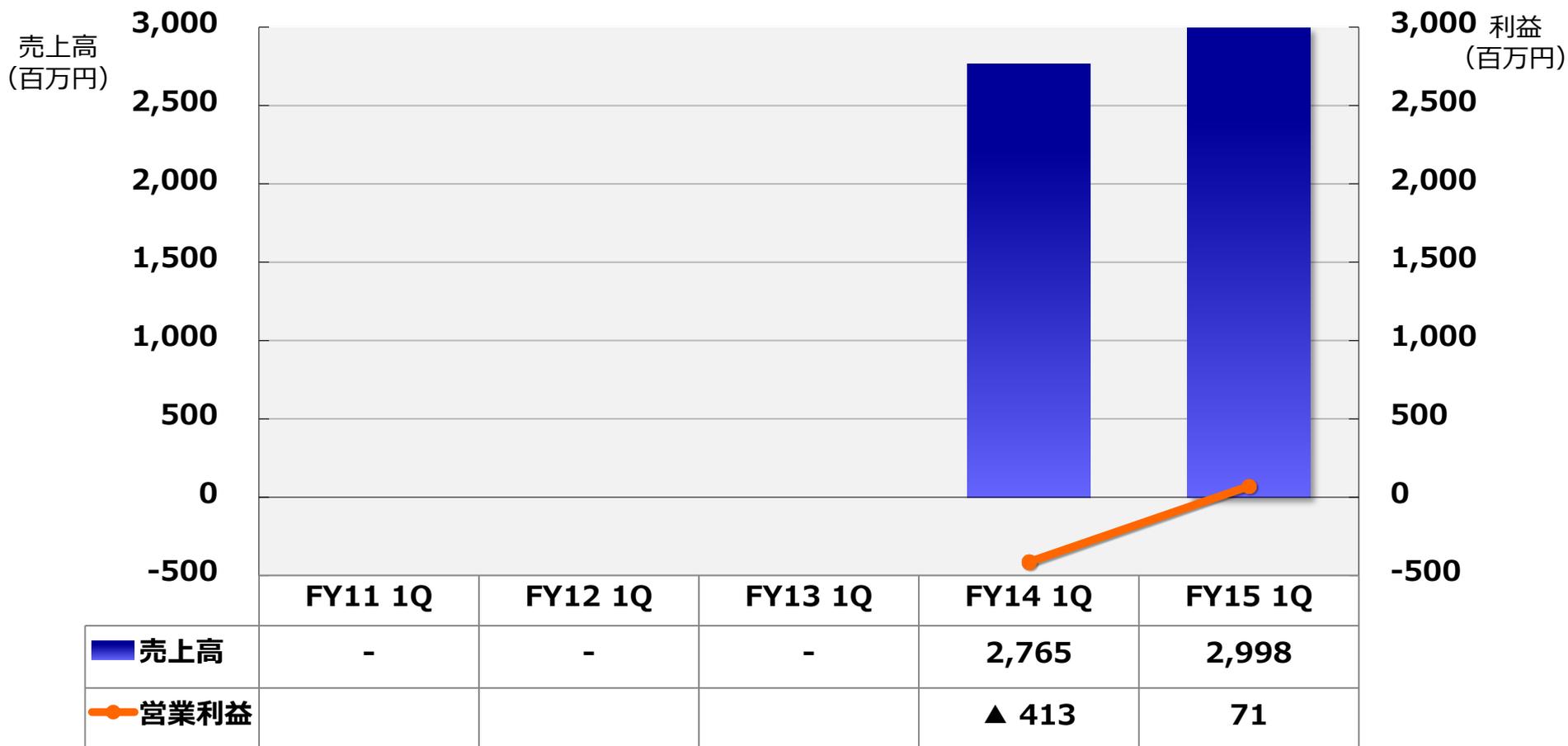
FY15 1Q ポイント事業の業績

- ポイント発行は堅調に推移するも、エコポイントの制度終了等による売上減少により、売上高は前年同期比2.4%減の571百万円。
- 営業利益は仕入コストの見直し、販売費及び一般管理費抑制等により、前年同期比165.8%増の53百万円。



FY15 1Q コロムビア事業の業績

- アニメ関連作品の市販・配信好調及び特販・通販の全般的売上増により、売上高は前年同期比8.4%増の2,998百万円。
- 営業利益は、売上高増加及び構造改革による固定費の大幅削減により、485百万円増の71百万円。



※コロムビア事業の売上高及び営業利益は、FY14 1Qより当社グループの業績に算入。

FY15 1Q セグメント別連結業績 (前年同期との比較)



(単位：百万円)

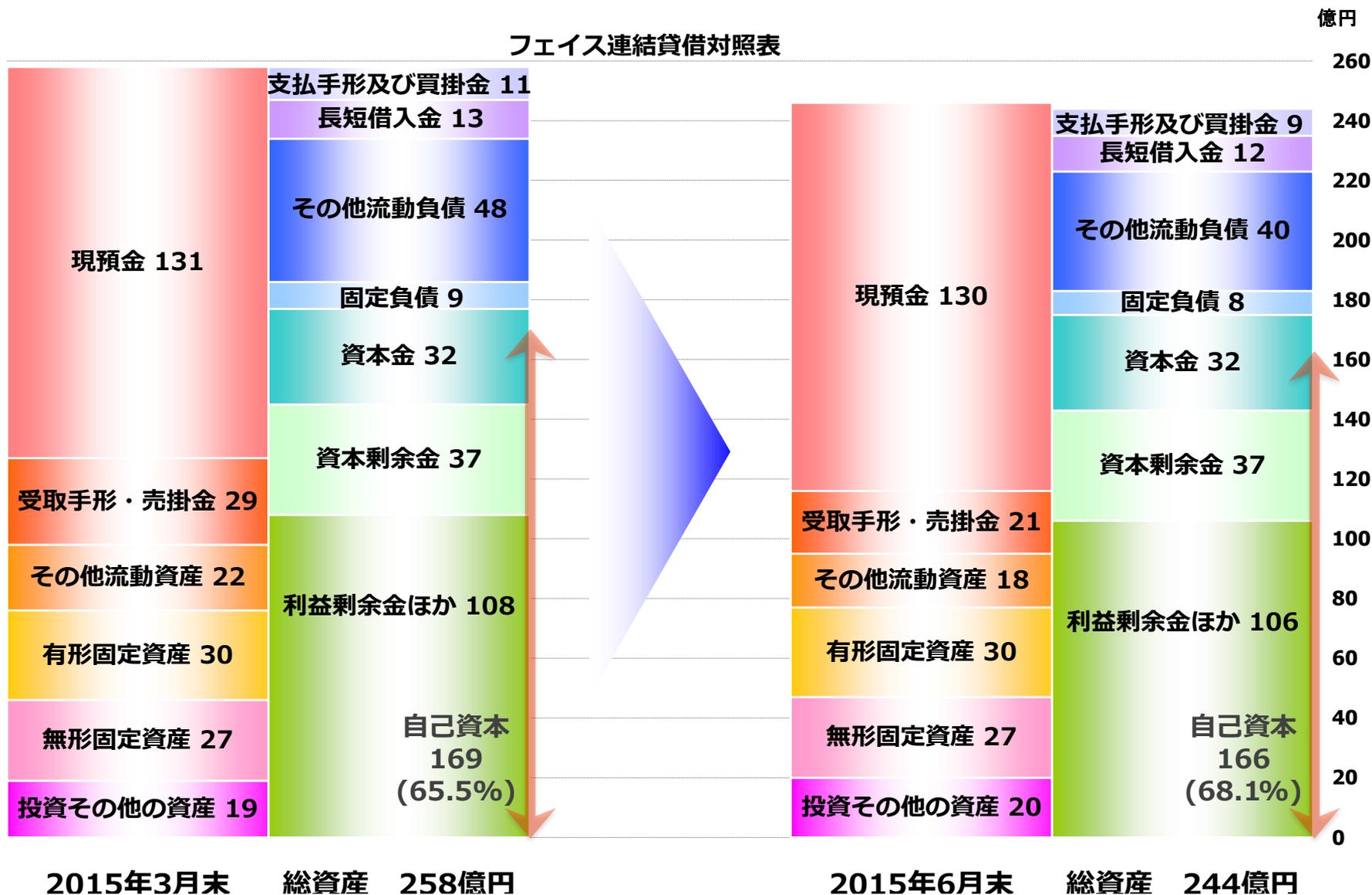
	FY14 1Q	FY15 1Q	対前期	同左
			増減額	増減率
売上高	4,445	4,695	+250	5.6%
コンテンツ事業	1,093	1,125	+32	3.0%
ポイント事業	586	571	△ 14	△ 2.4%
コロンビア事業	2,765	2,998	+232	8.4%
営業利益	△ 391	164	+556	—
コンテンツ事業	0	33	+32	—
ポイント事業	20	53	+33	165.8%
コロンビア事業	△ 413	71	+485	—
調整額※	0	5	+4	597.2%
経常利益	△ 386	168	+554	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 293	55	+349	—

※調整額はセグメント間取引の消去によるもの。

連結貸借対照表（前期末との比較）



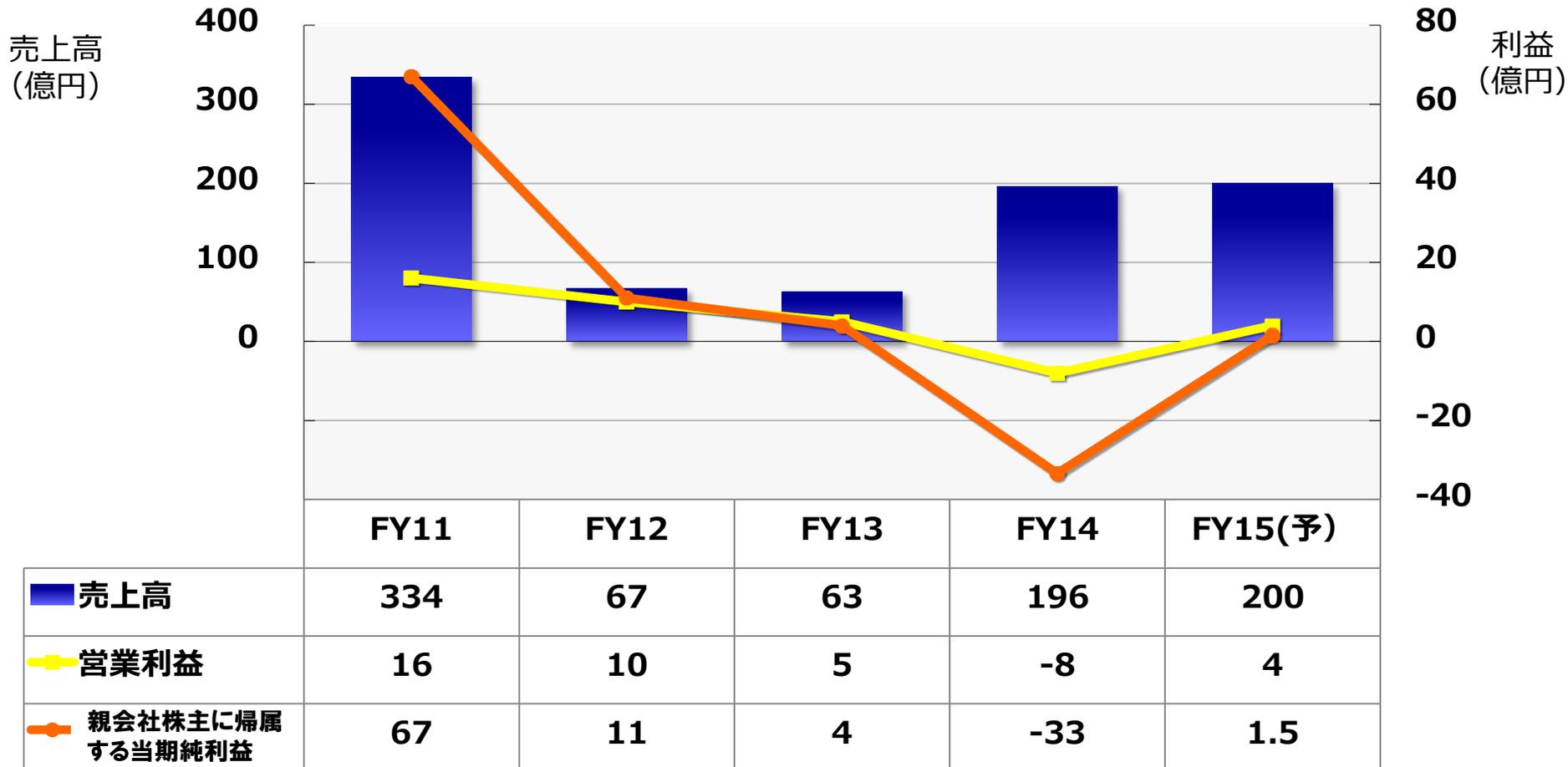
フェイス連結貸借対照表



業績予想

FY15 通期業績予想

- 既存事業売上の減少続くが、新規サービスの拡大により、売上高は2.1%増の200億円。
- 構造改革によるコロムビア事業の黒字化、新規サービスの利益計上により、営業利益は4億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1.5億円。



※2011年7月の株式会社ウェブマネー株式売却に伴い、FY11 2Q以降、電子マネー事業の売上・利益が除外されている。

FY15 セグメント別 業績予想



(単位：百万円)

	FY14	FY15 (予想)	対前期	
			増減額	同左 増減率
売上高	19,597	20,000	+402	+2.1%
コンテンツ事業	4,550	6,400	+1,849	+40.7%
ポイント事業	2,454	2,100	△ 354	△ 14.5%
コロンビア事業	12,591	11,500	△ 1,091	△ 8.7%
営業利益	△ 891	400	+1,291	—
コンテンツ事業	168	335	+166	+99.3%
ポイント事業	26	55	+28	+110.8%
コロンビア事業	△ 1,104	10	+1,114	—
調整額※	18	15	△ 3	—
経常利益	△ 862	380	+1,242	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 3,340	150	+3,490	—

※調整額はセグメント間取引の消去によるもの。

參考資料

FY15 1Q 連結売上高（前期との比較）



FY15 1Q 連結営業利益（前期との比較）



百万円

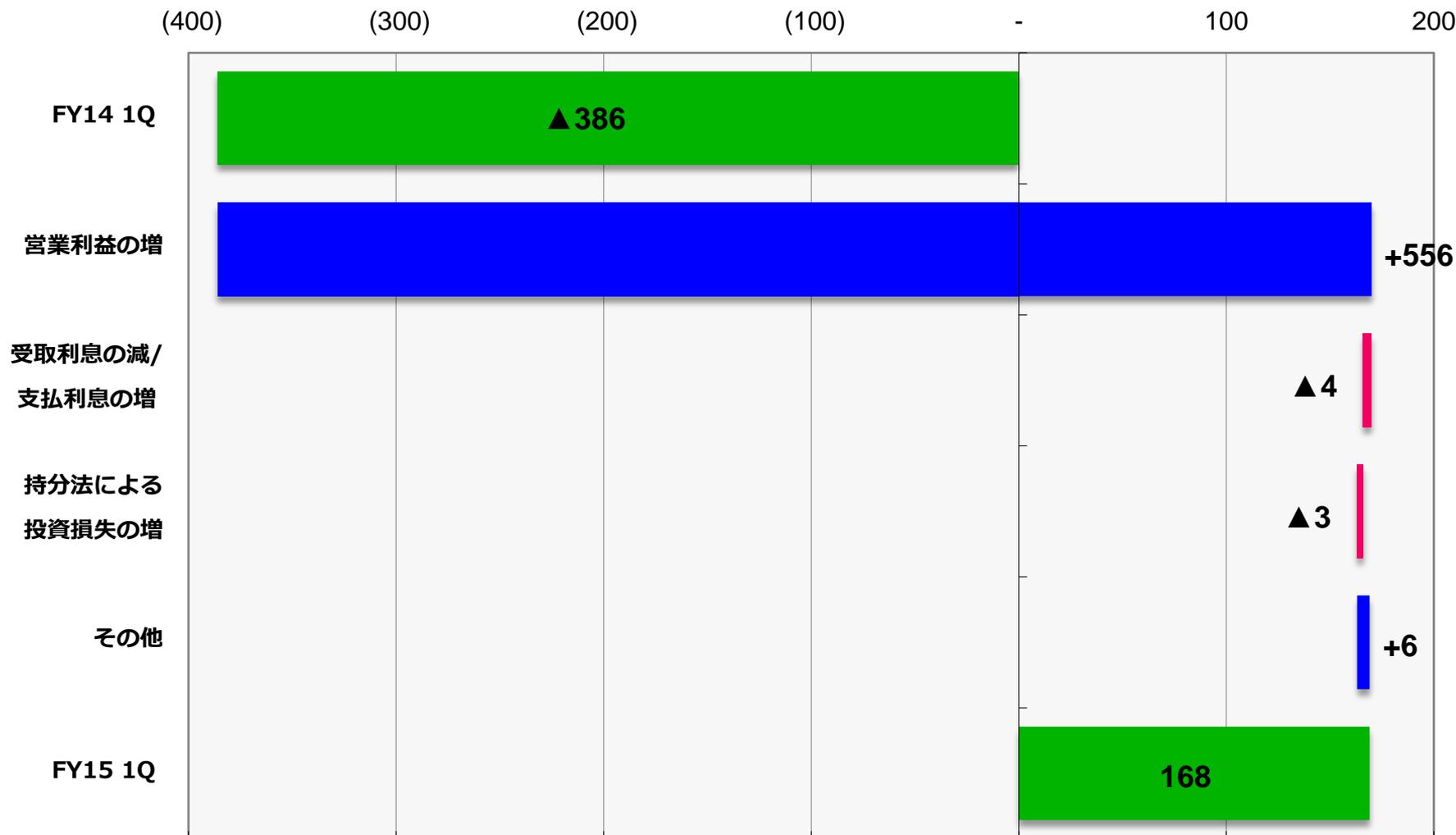


※調整額はセグメント間取引の消去によるもの。

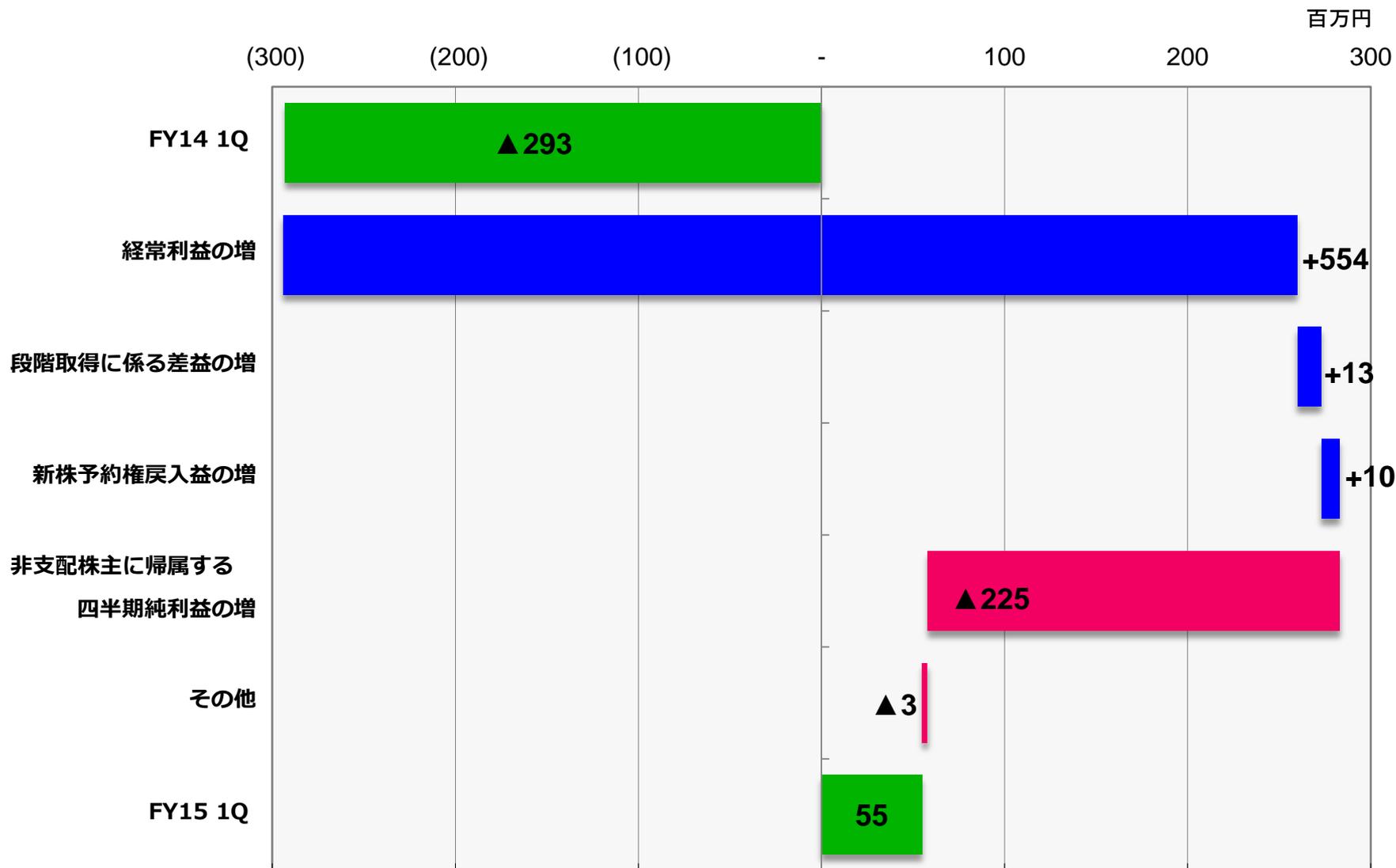
FY15 1Q 連結経常利益（前期との比較）



百万円



FY15 1Q 連結純利益※ (前期との比較)



※連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を指します。

注意事項

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られたフェイスの経営者の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。